

週刊

# 風っ子

11月18日(日)  
第84号

発行所/上毛新聞社  
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21  
☎027-254-9917 FAX 027-251-4334  
Eメール kazekko@raijin.com

な色だよ。  
半に日本からア  
こ伝わったので、  
akiと呼ばれて  
って。



収穫した稲を束にして、鉄棒みたいな器具に干す「はき掛け」という作業。  
高野さん(左)に手伝ってもらって上手にできました。



みなさんはお米や野菜がどうやって作られているか知っていますか。農家の人が毎日汗を流して大切に育ててくれています。風っ子探検隊は甘楽町で農業を教えている「自然塾寺子屋」へ行き、稲刈りとレタスの収穫を体験しました。

## 自然塾寺子屋甘楽

### 風っ子探検隊

自然塾の田んぼへ行く  
と、稲穂は黄金色になり、  
収穫期を迎えていました。  
稲刈り初挑戦の隊員に、自  
然塾の矢島亮一さんと高野  
一馬さんは、①腰をかがめて  
稲の下の方を持つ②鎌を立て

たう力を入れて引く③根元が  
少だけ残るように刈ると  
いう三つのポイントを教えて  
くれました。  
隊員はさっそく田んぼへ。  
低い姿勢で稲をつかみ、力い  
っぱい鎌を引くと、さくさくと  
音がして切れました。「みんな  
初めてなのに上手だね」。  
矢島さんにほめられた隊員  
は、うれしくなって夢中で  
作業を続けました。

レタス畑へ行く時、鮮やかな  
緑が一面を覆っています。  
テニスコート4個分の広さに、  
1万個のレタスがあるそ

### レタスも収穫



うです。収穫を手伝う隊員  
に、高野さんは「みんなが取  
ったレタスが明日、東京のス  
ーパーに並ぶから、丁寧に切  
ってね」と声を掛けます。み  
んな驚いて、ドキドキしな  
がら収穫しました。  
作業の途中、高野さんから  
「虫が付いたもの、形が悪いも

のは買ってもつえない」とい  
う話を聞き、隊員は野菜を作  
る大変さを知りました。  
お昼ごはんの時間になりま  
した。隊員は取れたレタ  
スをはくりに、とって  
もパリパリしていま  
す。自然塾が育て  
たお米のおにぎりも

最高の味です。隊員は農  
家の苦労を知り、「なん  
でも残さず、大切に食べ  
ました」。

データ 自然塾寺子屋  
場所 甘楽町上野  
開設 2003年5月  
できること 田植え、稲刈り、野菜の収穫な  
どの農業体験  
電話 0274・74・7369

## 収穫

### ドキドキ

左の写真が  
動きだすよ



動画撮ったよ  
スマホで見てね  
かわいい見方は  
左上にあるよ

「虫が付いたもの、形が悪いも  
作業の途中、高野さんから  
「虫が付いたもの、形が悪いも



ザクツと  
切ったよ



さあ、刈るぞ〜



高崎長野小3年  
諏訪 桃香さん

初めての収穫体験は大変だったけれど、楽しかったです。お米とレタスがたくさん取れてうれしいです。



高崎中居小5年  
荒木 真理恵さん

稲刈りもレタスの収穫も初めて体験しました。レタスを傷つけないように、下の部分を切るのが難しかったです。



富岡小野小3年  
磯貝 風沙さん

初めての稲刈りで最初は難しかったけれど、後から楽しくなりました。鎌で切るところは力が必要で大変でした。



安中松井田小3年  
今村 光一君

お米を鎌で刈ったり、レタスをつつ丁寧に取る作業は想像以上に大変でした。農家の苦労が分かりました。



前橋若宮小6年  
黒岩 航舞君

いつも食べている野菜を、農家の人が大変な思いをして作ってくれていることが分かったので、大切に食べたいです。



前橋若宮小4年  
黒岩 秋歌さん

お米やレタスがどう作られているか考えたことはなかったけれど、これからは農家の人に感謝して食べたいです。

おいしいね

★週刊風っ子  
クリスマス企画  
クッキーを作ろう  
参加者募集